

● UPZにおける安定ヨウ素剤の伊万里市の緊急配布場所 (令和4年3月現在)

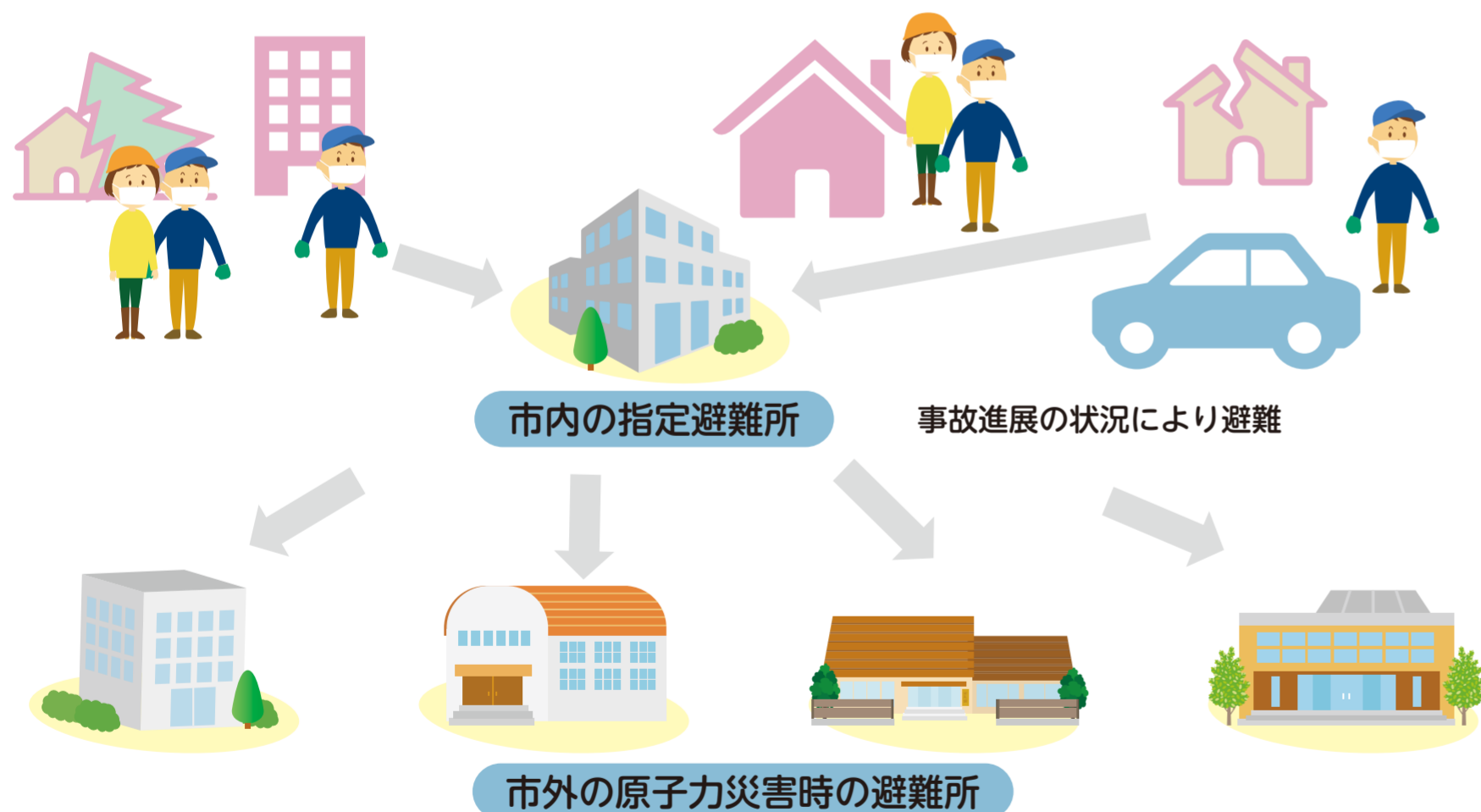
伊万里コミュニティセンター	南波多コミュニティセンター
牧島コミュニティセンター	大川コミュニティセンター
大坪コミュニティセンター	松浦コミュニティセンター
立花コミュニティセンター	二里コミュニティセンター
大川内コミュニティセンター	東山代コミュニティセンター
黒川コミュニティセンター	山代コミュニティセンター
波多津コミュニティセンター	伊万里市役所

- いずれかの場所で受け取りが可能です。
※伊万里市内の小中学校には別途、児童生徒分を備蓄しています。
- 上記で受け取れなかった場合、避難退域時検査場所(14ページ)でも受け取りができます。

12 地震と原子力災害の複合災害時の対応

○自宅が損壊した場合

地震等により自宅が損壊した場合は、まずは各町(地区)コミュニティセンターや小学校、中学校など市内の指定避難所へ避難してください。その後、原子力発電所に事故が発生した場合には、事故進展の状況により、屋内退避や市外への避難などの必要な防護措置を国が判断し、指示します。(6ページ)



各地域の避難先施設 (20～49ページ)

○避難先施設が使用できない場合

原子力災害時、避難や一時移転を迅速、かつ確実に行うために、市外の避難先施設をあらかじめ決めていますが(20～49ページ)、地震等の複合災害時などで予定している避難先に避難できない場合は、別の避難先を決定して、その情報をお知らせします。

13 感染症流行下における原子力災害時の避難

○避難に猶予がある場合は、以下の感染対策を行って避難してください

- 手指消毒及びマスク着用の徹底。
- 一時集合場所、避難バス車内、避難所等において、一定の距離をとる。
- 3密(密集、密接、密閉)を回避。



注意

原子力災害時の状況によっては、感染対策より避難を優先する場合があります。その場合は感染対策が十分でなくても、命を守り安全を確保するための行動を優先し、避難行動をとってください。

14 常に「もしも」と考えて ～過去の大災害の教訓から～

命を守るには、備えが必要です。
家にいるとき、外にいるとき、1人でのとき、
どうやって逃げるかを普段から考えておきましょう。



災害は「わがこと」です

- 日本では、大水害、地震、津波が、いつ、どこで起こるか分かりません。
- しかし、災害の経験、記憶はすぐに忘れ去られます。
- ゆえに、災害に遭った人は、必ず「まさか、ここで」という言葉を発します。

まず、自分の命を守る

- いざというとき、ちゅうちょなく、命を守る行動をとれるようにしておいてください。
- そのためには、逃げる、助かるという強い意志が必要です。

地域で助け合う

- 災害時には、高齢者や障害のある方が、どうしても逃げ遅れます。
- また、長期の避難生活で体調を崩したりすることがあります。
- 日頃から地域のつながりを大切にし、いざという時には助け合いましょう。



訓練が大切

- 災害時には、普段やれること、訓練でやったことのあることしかできません。
- ぜひ、地域で防災訓練に取り組みましょう。

